

## 【12】-3. 会計連動オプション（大蔵大臣）

会計連動オプション機能を導入することで、弥生会計、勘定奉行、大蔵大臣との仕訳連動が可能となります。勘定奉行は21シリーズとi8シリーズに対応しています。以降、21シリーズを「奉行」、i8シリーズを「奉行i」と記載します。また、大蔵大臣は「大臣」と記載します。当資料では、「大蔵大臣」に関する連動オプションを説明します。

### 1. 概要説明

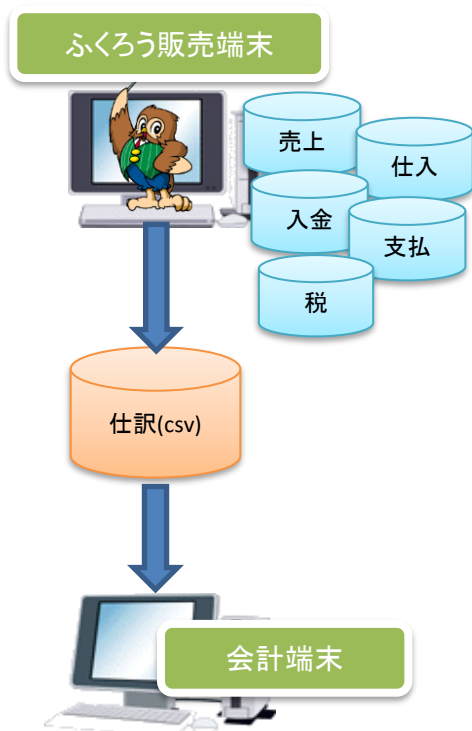
#### 1) 仕訳対象となるデータ

- ◆ ふくろう販売の各伝票入力画面（売上、仕入、入金、支払入力）から登録した各データ
- ◆ 請求締切処理または支払締切処理で作成される一括消費税データ

各伝票入力画面では明細で「伝区」（伝票区分）が指定でき、この伝区ごとに仕訳科目が設定されます。

#### ◇ 売上入力、入金入力画面例

#### 2) 仕訳データ連動処理の流れ



① ふくろう販売の伝票登録（売上、仕入、入金、支払入力）処理等で、各伝票データが日々蓄積されます。

② ふくろう販売の仕訳作成処理で、会計ソフト側のインポート形式に対応した仕訳データが作成されます。

③ 会計端末側で、仕訳ファイルをインポートします。

※ ふくろう販売端末、会計端末は同一端末でも異なる端末でも作業できます。

※ ふくろう販売側で補助科目や部門を追加、修正した場合、会計ソフト側も同様の修正が必要です。

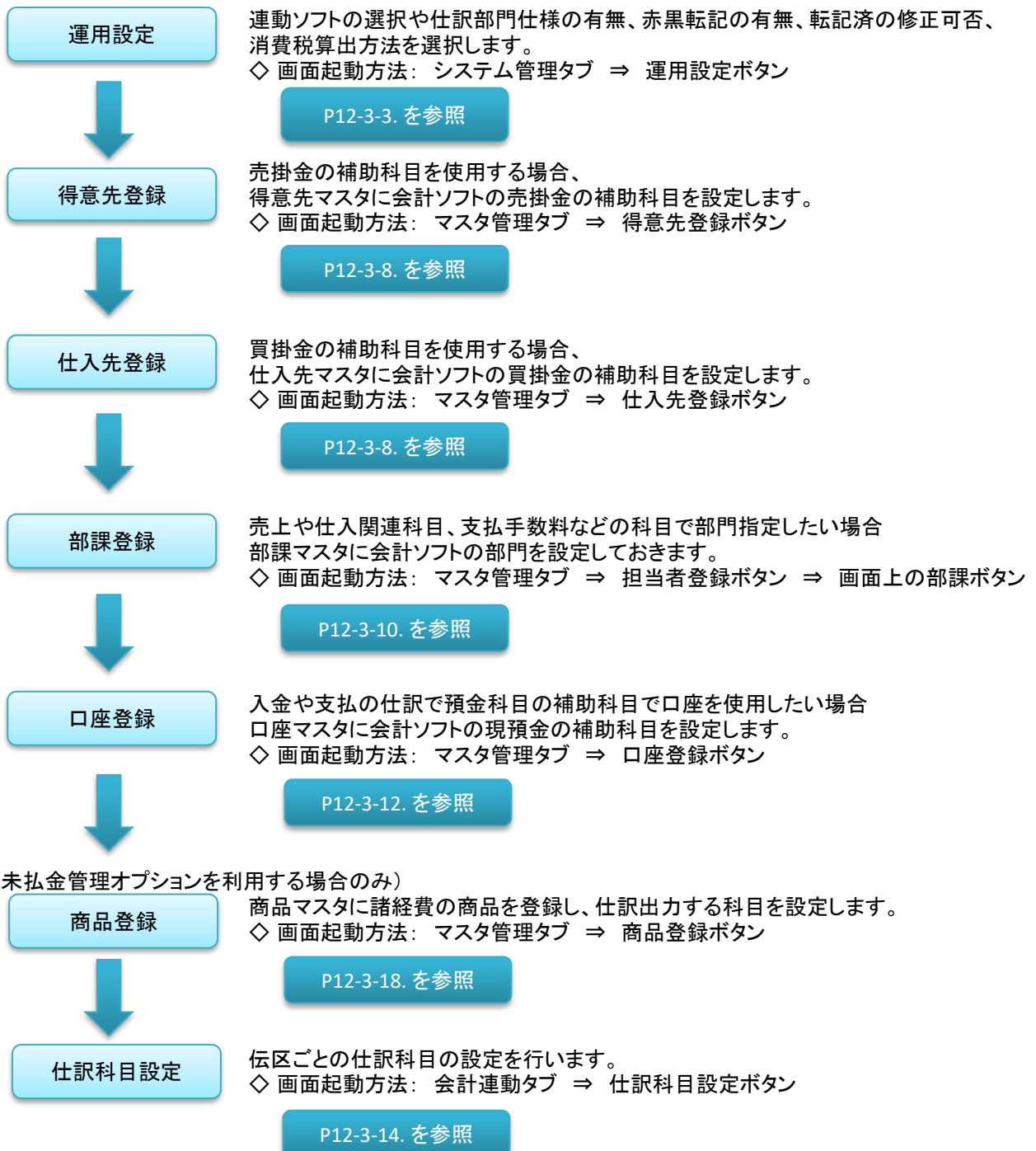
3) 設定できる補助科目、取引先、部門

- ◆ 得意先、仕入先は補助科目として連動できます。
- ◆ 売上や仕入関連科目の部門を使用する場合、ふくろうの部課を部門として連動できます。
- ◆ 入金や支払の預金の補助科目として口座を使用する場合、ふくろうの口座を補助科目として連動できます。

会計連動オプションが有効になると、各マスタ画面で補助科目や部門が指定できるようになりますので、会計ソフト側で設定しているものと同じ内容で設定します。

4) 会計連動 運用開始までの流れ

会計連動を導入するには以下の流れで設定を行います。



以上の設定を完了すると、運用が開始できます。

2. 会計連動 運用開始するための登録・設定

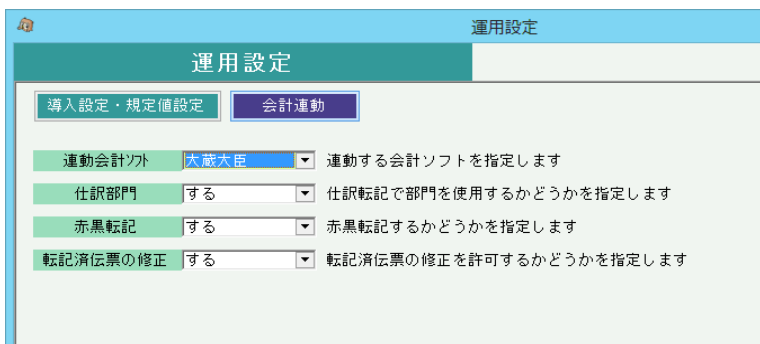
1) 運用設定での会計連動設定

- ① 会計連動設定画面にて、連動ソフトの選択や仕訳部門の使用有無、赤黒転記の有無、転記済の伝票修正可否などを設定できます。

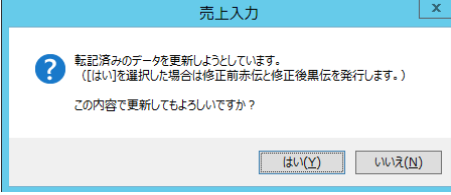
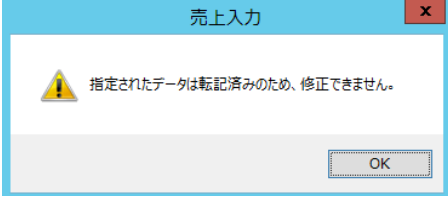
- ◇ 運用設定画面：システム管理タブ ⇒ 運用設定ボタン ⇒ 画面上の会計連動ボタン  
運用設定画面上部の「会計連動」ボタンを押下します。



以下の画面で各項目の設定をします。



項目名称	説明
連動会計ソフト	連動する会計ソフトが選択されています。 ※システム導入時にあらかじめ設定されており、変更はできません。
仕訳部門	会計連動を行う場合、部門を使用するかどうか選択できます。 「する」にした場合は、部課マスタにて補助科目を指定できるようになり、会計側の部門がマスタに指定できるようになります。  部門の設定はP12-3-10. を参照
赤黒転記	伝票修正、削除時に赤伝黒伝仕訳(修正仕訳)作成を行うかどうかを選択します。 ※すでに登録されている伝票が存在する場合、変更はできません。  ◆ 赤黒転記とは・・・ 例) 一度仕訳作成済の売上で、100円を150円と金額訂正した場合 再度同一売上を仕訳すると以下のような赤黒仕訳が作成されます。  売掛金 -100円 / 売上高 -100円 ⇒ 赤 売掛金 150円 / 売上高 150円 ⇒ 黒  ※伝票削除の場合は、赤明細のみが仕訳されます。 ※赤黒転記しない場合は、黒明細のが仕訳されます。

項目名称	説明
転記済み伝票の修正	<p>会計ソフトへの仕訳連動を使用している場合、転記済みの伝票の修正を認めるか認めないかを選択します。 設定は運用途中いつでも変更可能です。</p> <p>◆ 「する」を選択している場合・・・ 転記済みの伝票を修正、削除しようとした場合、以下のような警告表示されますが更新は可能となります。</p>  <p>◆ 「しない」を選択している場合・・・ 転記済みの伝票を修正、削除しようとした場合、以下のような警告表示され更新は不可となります。</p> 

② 運用設定画面で、消費税の調整法を設定します。

◇ 運用設定画面：システム管理タブ ⇒ 運用設定ボタン

以下の設定箇所です。税算出法が「一括税」か「調整税」かを選択できます。

1	導入開始日	2014/09/01	ふくろう販売の本番開始日です。導入後に変更不可になる項目もあ
2	決算月日	0899	会社の決算月日です。mmd形式で指定してください。(日部分は1～
3	入力可能年月日自	2010/09/01	これ以降の日付の伝票のみ登録できます。誤登録を防ぐために使用
4	入力可能年月日至	2999/12/31	これ以前の日付の伝票のみ登録できます。誤登録を防ぐために使用
5	受発注入力可能年月日自	2011/09/01	これ以降の日付の伝票のみ登録できます。誤登録を防ぐために使用
6	受発注入力可能年月日至	2999/12/31	これ以前の日付の伝票のみ登録できます。誤登録を防ぐために使用
7	税算出法	一括税	会計連動している場合に会計に流れる消費税の単位を指定します
8	税計算方法	請求(支払)時外税	得意先、仕入先の新規登録時初期値です
9	消費税コード	751010	消費税の商品コードです

税算出法とは・・・

得意先や仕入先の税転嫁が請求時・支払時の一括消費税計算である場合で仕訳作成するときの消費税計算方式を選択できます。

- ◆ 一括税： 締切処理で作成した消費税伝票の消費税を表示します。  
締切処理をするまでは消費税の仕訳が作成・転記されません。
- ◆ 調整税： 明細行ごとの消費税を表示します。  
明細行ごとの消費税を集計するので締切前でも消費税額を確認することができます。

消費税算出方法詳細は次項を参照

税算出法と消費税仕訳の関係について

例：得意先の設定が、毎月20日締の請求時外税計算、税端数処理は切捨てである場合を例に説明します。

売上入力

① 3月1日 に売上入力にて以下の3行の明細が入力されたとします。

明細消費税(A)は明細単位でシステム内部で保持していますが画面では表示されません。

明細情報									
削除	伝区	商品コード	品名	売上数量	種別	売上原単価	売上原価		
	出荷				単位	売上単価	売上金額		
1	<input type="checkbox"/>	掛売上	1			0	0		
			テスト商品	1.0		77	77		
2	<input type="checkbox"/>	掛売上	1			0	0		
			テスト商品	1.0		77	77		
3	<input type="checkbox"/>	掛売上	1			0	0		
			テスト商品	1.0		77	77		
*	<input type="checkbox"/>	掛売上				0	0		
				0.0		0	0		

明細消費税	
¥7	A
¥7	
¥7	

② 3月20日 に請求締切処理をしたとします。

請求締切処理後、売上入力画面で確認すると消費税伝票(伝票Noオール9)が自動作成されています。

明細は以下のように消費税明細が自動作成され、計上日は3月20日となります。

金額は売上合計¥231に対する請求時消費税¥23が計上されます。

請求対象である売上の明細消費税合計¥21(A)との差額¥2が内部的に明細消費税(B)にセットされます。

削除	伝区	商品コード	品名2	倉庫コード	種別	売上原単価	売上原価		
	出荷			倉庫略名	単位	売上単価	消費税額		
256	<input type="checkbox"/>	税掛請	ZEIKIN			0	0		
			消費税			0.0	23		

明細消費税	
¥2	B

③ 請求締切日以降の3月30日 に以下の1行の明細が入力されたとします。

明細消費税(C)は①同様に内部的に¥7がセットされますが画面では表示されません。

明細情報									
削除	伝区	商品コード	品名	売上数量	種別	売上原単価	売上原価		
	出荷				単位	売上単価	売上金額		
1	<input type="checkbox"/>	掛売上	1			77	77		
			テスト商品	1.0		77	77		
*	<input type="checkbox"/>	掛売上				0	0		
				0.0		0	0		

明細消費税	
¥7	C

仕訳作成

上記売上データを一括税、調整税それぞれで仕訳した場合の仕訳イメージです。

※ 仕訳作成は毎日実行しており、伝票別転記方式と仮定します。

◆「一括税」設定での仕訳の場合

① 3月1日 の仕訳

売掛金	¥231	／	売上高	¥231
			貸方消費税	¥0

通常伝票は大臣の税処理区分が「税抜金額からの計算」で設定されますが消費税はセットされません

② 3月20日 の仕訳

売掛金	¥23	／	売上高	¥23
			(内消費税)	(¥23)

消費税伝票は大臣の税処理区分が「税込金額からの計算」で設定され全額消費税で仕訳されます。

③ 3月30日 の仕訳

売掛金	¥77	／	売上高	¥77
			貸方消費税	(¥0)

①同様、消費税はセットされません。結果、大臣側で3/1～3/31で集計すると消費税は②の額となります。

◆「調整税」設定での仕訳の場合

① 3月1日 の仕訳

売掛金	¥252	／	売上高	¥231
			貸方消費税	¥21

通常伝票は大臣の税処理区分が「税抜金額からの計算」で設定されますが消費税は[A]がセットされます

② 3月20日 の仕訳

売掛金	¥2	／	売上高	¥2
			(内消費税)	(¥2)

消費税伝票は大臣の税処理区分が「税込金額からの計算」で設定され全額[B]の調整税がセットされます。

③ 3月30日 の仕訳

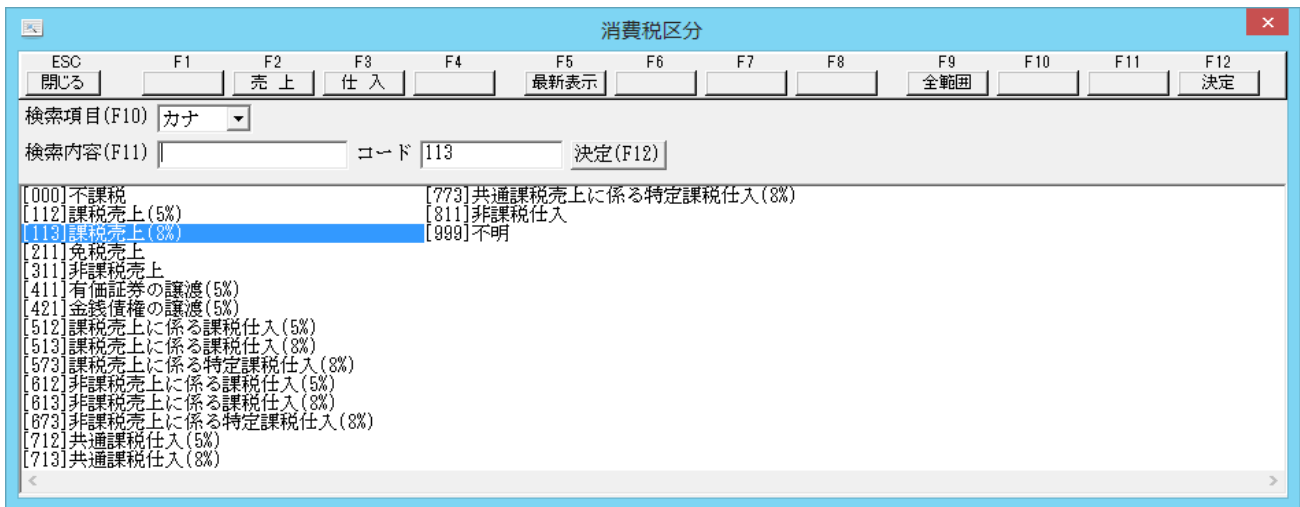
売掛金	¥84	／	売上高	¥77
			貸方消費税	¥7

①同様、消費税は[C]がセットされます。結果、大臣側で3/1～3/31で集計すると消費税は[A]+[B]+[C]の額となります。

※内税の得意先の場合は、通常伝票も「税込金額からの計算」で仕訳されます。

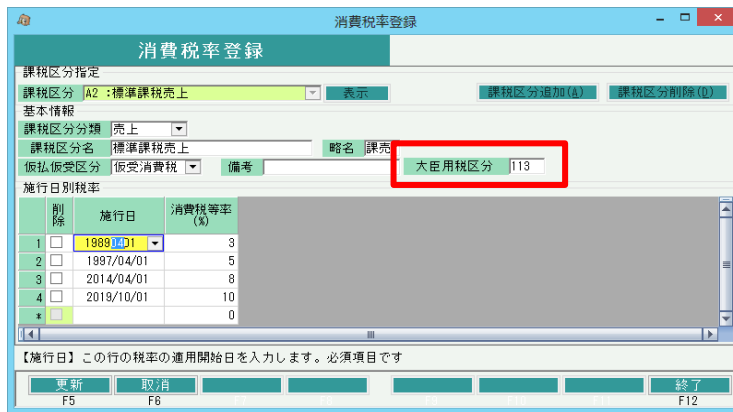
◇ 税区分コード

大蔵大臣には下の画面のような税区分コードがあります。



仕訳データでは、ふくろう販売の「消費税率登録」で登録したコードが出力されます。  
 空白を指定指定した場合は、大臣側で伝票の日付から判定して適切な税区分が設定されます。

「システム管理」→「消費税登録」



伝票の日付に関係なく固定で税区分を設定した場合は、大蔵大臣の税区分コードを設定してください。

## 【12】-1. 会計連動オプション（大蔵大臣）

ふくろうの売上傳票、仕入伝票の税区分は商品マスタの税区分が初期設定されます。  
 売上傳票、仕入伝票の明細行の税区分は入力時に変更可能です。  
 （選択する税区分は消費税率登録にて追加、変更できます）

「マスタ管理」→「商品登録」

商品登録

修正 コード 01-0000 登録済みの商品コードを指定すると修正モードになります

品名 テスト製品 品名2  
 カナ テスト製品 略名 テスト製品 単位  
 在庫管理要否 必要 倉庫 0000 共通倉庫  
 事業所  
 使用区分  使用する  使用しない 完成品/ロット品 完成品

商品分類  
 商品区分 区分1 区分2 区分3 区分4 区分5  
 商品種別 発注 仕入 受注 売上 入出庫 生産  
 単位重量 0 重量単位 リットタイム 0 日  
 標準入数 0 発注ロット 0

諸経費区分  諸経費  
 借方科目 補助科目  使用する

**課税区分 売上 課売 仕入 課仕** 通貨 JPY  
 金額端数区分 切り捨て 掛率使用要否 必要  
 売上原価計算法 標準原価 棚卸評価法 標準原価  
 予定数量管理要否 不要 償却予定数量 52.30

売上傳票の明細行（仕入も同じ）

行No	削除	伝区 出荷	商品コード	品名2 品名	倉庫コード 倉庫略名	種別	売上原単価 売上単価	売上原価 売上金額	備考 仕入先コード	マク仕 仕入先 名	税区分
1	<input type="checkbox"/>	掛売上	01-0000	テスト製品	0000 共通倉庫	売上	0.00 100,000.00	0 0			課売
*	<input type="checkbox"/>	掛売上				売上	0.00 0.00	0 0			



2) 得意先登録、仕入先登録での設定

① 得意先の補助科目を使用した仕訳概要

大臣側で売掛金や買掛金の補助科目で得意先や仕入先を使用している場合、売上や仕入の仕訳時に大臣に登録している補助科目コードをセットして仕訳連動出来ます。

補助科目を設定すると、下記のように仕訳されます。

例) さくら商事に商品を販売し、代金10,800円は掛けとした。

借方金額	部門/税区分	借方科目	摘要	貸方科目	部門/税区分	貸方金額
10,800	000	売掛金 さくら商事		売上高	113	税抜 10,000
				仮受消費税	113	自動 800

得意先、仕入先の補助科目がセットされる仕訳(初期設定)

初期設定は、以下表の補助に「○」がある箇所に補助科目がセットされ仕訳されます。

◇ 売上系の仕訳 補助科目初期設定

※以下は売掛金に対する売上や入金仕訳例です。

※掛売上の処理が現金処理に変わる場合は以下の売掛金が現金、前受処理の場合は前受金となります。

処理	伝区	借方科目	補助	貸方科目	補助
掛売上	掛売上	売掛金	○	売上高	
	掛返品	売上戻り高		売掛金	○
	掛値引	売上値引高		売掛金	○
	掛経費	売掛金	○	雑収入	
	税掛伝	売掛金	○	売上高	
	税掛請	売掛金	○	売上高	
掛入金	振込入金	当座預金		売掛金	○
	振込料	支払手数料		売掛金	○
	現金入金	現金		売掛金	○
	小切手入金	現金		売掛金	○
	手形入金	受取手形		売掛金	○
	値引	売上値引高		売掛金	○
	相殺	買掛金	○	売掛金	○

◇ 仕入系の仕訳 部門初期設定

※以下は買掛金に対する仕入や支払の仕訳例です。

※掛仕入の処理が現金処理に変わる場合は以下の買掛金が現金、前払処理の場合は前渡金となります。

※諸経費の借方科目にはダミーが設定されていますが、出力値は商品登録の借方科目コードです。

処理	伝区	借方科目	補助	貸方科目	補助
掛仕入	掛仕入	仕入高		買掛金	○
	掛仕返品	買掛金	○	仕入戻り高	
	掛値引	買掛金	○	仕入値引高	
	掛経費	雑費		買掛金	○
	諸経費	(ダミー)	○	未払金	
	税掛伝	仕入高		買掛金	○
	税掛支	仕入高		買掛金	○
掛支払	振込支払	買掛金	○	当座預金	
	振込料	当座預金		支払手数料	
	現金支払	買掛金	○	現金	
	小切手支払	買掛金	○	当座預金	
	手形支払	買掛金	○	支払手形	
	値引	買掛金	○	仕入値引高	



② 画面での補助科目設定方法

◇ 得意先登録画面

大蔵大臣で登録している売掛金の補助科目コードを入力します。

A screenshot of a software interface for customer registration. It shows a text input field with the label '大蔵大臣補助' (Daijichin Jichibu) and the value '1001'. The entire input area is enclosed in a red rectangular box.

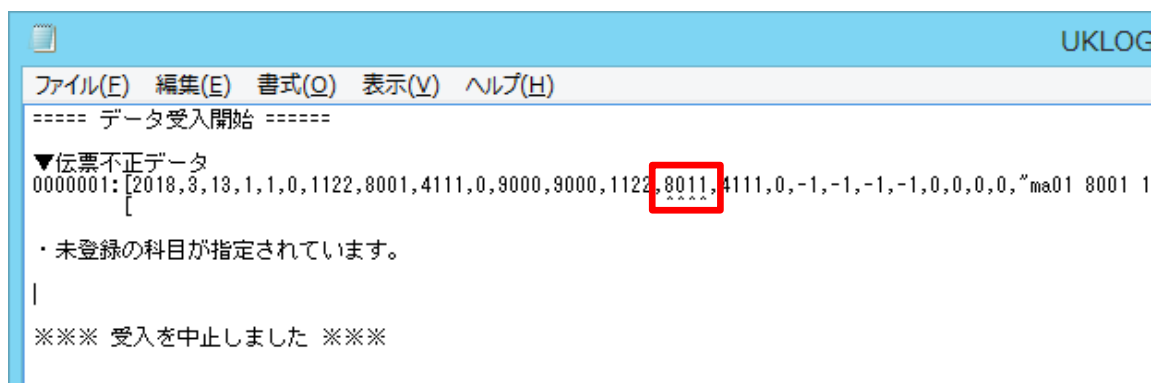
◇ 仕入先登録画面

大蔵大臣で登録している買掛金の補助科目コードを入力します。

A screenshot of a software interface for supplier registration. It shows a text input field with the label '大蔵大臣補助' (Daijichin Jichibu) and the value '5001'. The entire input area is enclosed in a red rectangular box.

【注意点】

- ・ 大蔵大臣に未登録の補助科目を指定している場合は、仕訳取り込みの際にエラーとなります。大蔵大臣からエラーログが出力されますので、大蔵大臣に登録済の補助科目コードを設定して再度、仕訳作成を実行してください。



4) 部課登録での設定

① 部門仕訳概要

大蔵大臣で部門別仕訳をしている場合、売上や仕入関連の仕訳時に大蔵大臣に登録している部門コードをセットして仕訳連動できます。

部門設定をすると、以下のように仕訳されます。

例) 大阪営業部がさくら商事に商品を販売し、代金10,800(税込8%)は掛けとした。

日付 平成30年 3月31日 伝票No 1 新規伝票

借方金額	部門/税区分	借方科目	摘要	貸方科目	部門/税区分	貸方金額
10,800	000	売掛金 さくら商事	あ	売上高	大阪営業 113	税抜 10,000
				仮受消費税	113	自動 800

部門セットされる仕訳(初期設定)

初期設定は、以下表の部門に「○」がある箇所に部門がセットされ仕訳されます。

◇ 売上系の仕訳 部門初期設定

※以下は売掛金に対する売上や入金仕訳例です。

※掛売上の処理が現金処理となる場合は売掛金が現金(100)、前受処理の場合は前受金(340)となります。

処理	伝区	借方科目/コード	部門	貸方科目/コード	部門
掛売上	掛売上	売掛金		売上高	○
	掛返品	売上戻り高	○	売掛金	
	掛値引	売上値引高	○	売掛金	
	掛経費	売掛金		雑収入	○
	税掛伝	売掛金		売上高	○
	税掛請	売掛金		売上高	○
	掛入金	振込入金	当座預金		売掛金
振込料		支払手数料	○	売掛金	
現金入金		現金		売掛金	
小切手入金		現金		売掛金	
手形入金		受取手形		売掛金	
値引		売上値引高	○	売掛金	
相殺		買掛金		売掛金	

◇ 仕入系の仕訳 部門初期設定

※以下は買掛金に対する仕入や支払仕訳例です。

※掛仕入の処理が現金処理となる場合は買掛金が現金(100)、前払処理の場合は前払金(170)となります。

※諸経費の借方科目にはダミーが設定されていますが、出力値は商品登録の借方科目コードです。

処理	伝区	借方科目/コード	部門	貸方科目/コード	部門
掛仕入	掛仕入	仕入高	○	買掛金	
	掛仕返品	買掛金		仕入戻り高	○
	掛値引	買掛金		仕入値引高	○
	掛経費	雑費	○	買掛金	
	諸経費	(ダミー)	○	未払金	
	税掛伝	仕入高	○	買掛金	
	税掛支	仕入高	○	買掛金	
掛支払	振込支払	買掛金		当座預金	
	振込料	当座預金	○	支払手数料	○
	現金支払	買掛金		現金	
	小切手支払	買掛金		当座預金	
	手形支払	買掛金		支払手形	
値引	買掛金		仕入値引高	○	

② 画面での部門設定方法

- ◇ 部課登録画面： マスタ管理タブ ⇒ 担当者登録 ⇒ 画面上の「部課」ボタン  
大蔵大臣側に登録している部門コードを指定します。

削除	事業所	部課コード	部課名	部課略名	大蔵大臣部門
1	<input type="checkbox"/>	本社	0001	本社	0001

【注意点】

- ・ 異なる部課で同じ部門コードを指定することは可能です。  
登録ボタン押下時に重複チェックされ、重複している場合は警告が表示されますがそのまま登録も可能です。

③ ふくろう販売での部門の採用方法

ふくろう販売では売上、仕入、入金、支払入力画面で指定された「担当者」から部門を判定します。担当者は必ず一つの「部課」に所属します。その部課に設定されている「大臣部門コード」を仕訳にセットします。

担当者から部課が決定されます。

削除	部課	担当者コード	担当者名	担当者略名		
1	<input type="checkbox"/>	0001	第一営業部	0001	鈴木 一郎	鈴木 一郎

部課から大臣部門が決定します。

削除	事業所	部課コード	部課名	部課略名	大蔵大臣部門
1	<input type="checkbox"/>	本社	0001	第一営業部	0001

5) 口座登録での設定

① 口座を使用した仕訳概要

大蔵大臣側で預金科目の補助科目で口座を使用している場合、入金や支払の仕訳時に大蔵大臣に登録している補助科目コードをセットして仕訳連動できます。

補助科目コードを設定すると、以下のように仕訳されます。

例) さくら商事の売掛金100,000円の回収として、自社の口座(みずほ銀行-当座預金)へ振り込まれた。

日付	平成30年 3月31日	伝票No	1	新規伝票					
借方金額	100,000	部門/税区分	000	借方科目	当座預金	摘要	貸方科目	部門/税区分	貸方金額
					みずほ銀行		売掛金	000	100,000
							さくら商事		

口座の補助科目セットされる仕訳(初期設定)

初期設定は、以下表の口座に「○」がある箇所に補助科目コードがセットされ仕訳されます。

◇ 入金系の仕訳 口座初期設定

※以下は売掛金に対する入金の仕訳例です。

処理	伝区	借方科目	口座	貸方科目	口座
掛入金	振込入金	当座預金	○	売掛金	
	振込料	支払手数料		売掛金	
	現金入金	現金		売掛金	
	小切手入金	現金		売掛金	
	手形入金	受取手形		売掛金	
	値引	売上値引高		売掛金	
	相殺	買掛金		売掛金	

◇ 支払系の仕訳 口座初期設定

※以下は買掛金に対する支払の仕訳例です。

※未払金は「未払金管理オプション」使用時のみ出力されます

処理	伝区	借方科目	口座	貸方科	口座
掛支払	振込支払	買掛金		当座預金	○
	振込料	当座預金	○	支払手数料	
	現金支払	買掛金		現金	
	小切手支払	買掛金		当座預金	○
	手形支払	買掛金		支払手形	
	値引	買掛金		仕入値引高	
	未払金	未払金		買掛金	

② 画面での口座設定方法

- ◇ 口座登録画面： マスタ管理タブ ⇒ 口座登録  
大蔵大臣側に登録している預金科目の補助科目コードを指定します。

口座登録							
削除	コード	口座名	口座力ナ名義	振込依頼人コード	大蔵大臣補助	使用	
1	<input type="checkbox"/>	0001	三井住友銀行 吹田支店	ﾌｼﾞﾉ	29602960	0108	使用
2	<input type="checkbox"/>	0002	三菱東京UFJ銀行	ﾌｼﾞﾉ	68978586		使用
3	<input type="checkbox"/>	0003	〇〇銀行 吹田支店				使用
4	<input type="checkbox"/>						使用

【注意点】

- ・ 異なる口座で同じ補助科目コードを指定することは可能です。  
登録ボタン押下時に重複チェックされ、重複している場合は警告が表示されますがそのまま登録も可能です。

③ ふくろう販売での口座の採用方法

ふくろう販売では入金、支払入力画面で指定された「取引口座」から普通預金か当座預金かを判定します。同時に選択したその口座に設定されている「補助科目コード」を仕訳にセットします。

入金入力

伝票指定  
仮伝票No 72  
請求先 00001 ふくろう商事株式会社  
入金日 2018/05/09 請求締日 2018/05/31 売上回収予定日 2018/05/09  
担当者 9999 管理者 事業所 本社 手形サイト 90日 手数料 当方負担  
外貨手数料 0  
売上伝票指定(S) 売上合計(円) 0 売上合計(外貨) 0 通貨 JPY レート 1.0000 円

明細情報

行No	削除	伝区	取引口座	口座種別	備考	回収予定額
			手形No 振出日 手形期日 変換手形期日	入金額	相殺仕先	
1	<input type="checkbox"/>	振込入	三井住友銀行 吹田支店	当座		0
*	<input type="checkbox"/>	振込入	三菱東京UFJ銀行	当座		0

合計金額 0

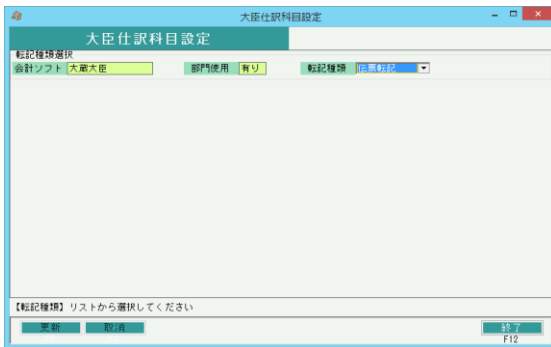
同時に大臣科目コードを採用して仕訳されます。

口座登録								
削除	コード	口座名	銀行コード	支店コード	口座種別	大蔵大臣補助	使用	
1	<input type="checkbox"/>	0001	三井住友銀行 吹田支店	0009	751	当座	0108	使用
2	<input type="checkbox"/>	0002	三菱東京UFJ銀行	0005	218	当座		使用
3	<input type="checkbox"/>	0003	〇〇銀行 吹田支店			普通		使用
4	<input type="checkbox"/>					当座		使用

4) 仕訳科目の設定手順

会計ソフトとの仕訳連動する場合、基準となる仕訳を各伝票ごとに設定しておきます。  
当メニューは運用設定の会計連動設定にて「連動会計ソフト」を設定してある場合のみ、使用することができます。

①会計連動メニューの仕訳科目設定を起動します。

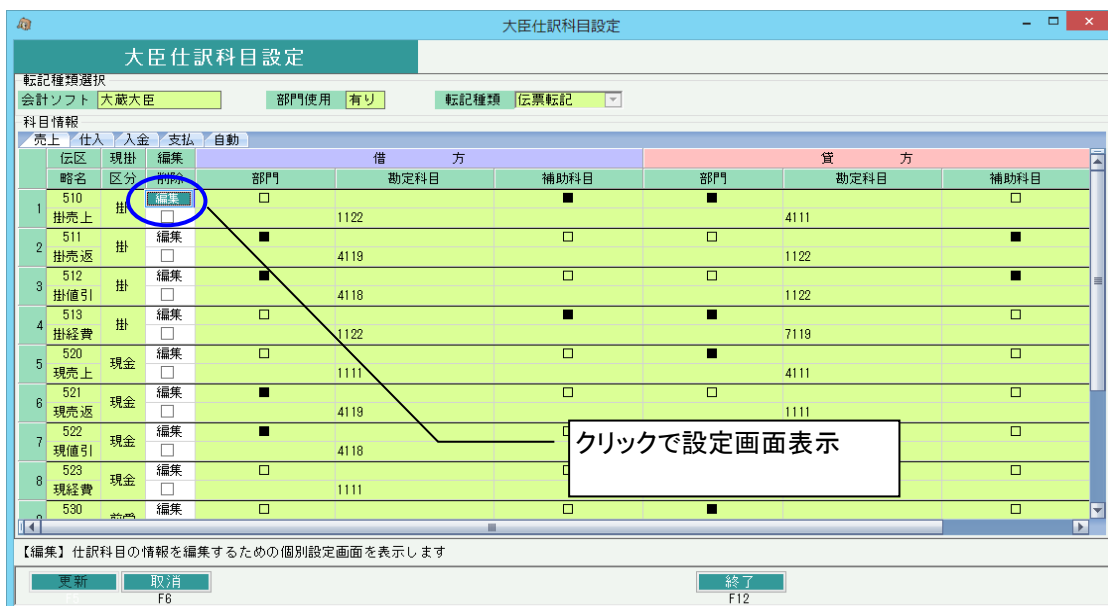


② 仕訳で使う転記種類を以下から選択します。  
通常仕訳で使用しない転記種類は設定しておく必要はありません。

- ◆ 伝票転記・・・各伝票・伝票区分ごとに仕訳伝票を作成します。  
仕訳の伝票日付はふくろうの伝票日付と同日になります。
- ◆ 日別転記・・・伝票種類・伝票区分・各伝票日付ごとに仕訳伝票を作成します。  
仕訳の伝票日付はふくろうの伝票日付と同日になります。
- ◆ 取引先別転記・・・指定した期間を合算し、伝票種類・伝票区分・取引先ごとに仕訳伝票を作成します。  
取引先を使用していない仕訳は合計転記と同様の仕訳です。  
仕訳の伝票日付は仕訳作成時の出力範囲Toの日付と同日になります。
- ◆ 合計転記・・・指定した期間を合算し、伝票種類・伝票区分ごとに仕訳伝票を作成します。  
仕訳の伝票日付は仕訳作成時の出力範囲Toの日付と同日になります。

③ 転記種類を選択すると、設定されている伝票ごとの一覧が表示されます。

④ 仕訳はどの転記方法であろうが、必ず伝票区分(伝区)ごとに設定する必要があります。  
設定は対象となる伝区の編集ボタンクリックにて設定画面が開きます。



編集画面から当画面に戻った後は必ず「更新」ボタン押下して終了してください。  
更新せず画面閉じると、編集画面で指定した内容が更新されません。

◇ 仕訳科目設定 - 個別設定画面

伝区ごとの仕訳科目を設定します。

⑤ 上図 太枠内を入力します。

項目名	説明
借方(貸方)部門	チェックON時は部課マスタの大蔵部門コードを仕訳の部門としてセットします。 チェックOFF時はテキストボックスに入力された名称を部門としてセットします。
借方(貸方)科目	仕訳時の借方(貸方)勘定科目コードを指定します。
借方(貸方)取引先	仕訳時に取引先をセットするかどうかを選択します。 セットする場合は、「得意先」「仕入先」「受注の得意先」から選択します。 取引先詳細については2-2「得意先登録、仕入先登録での設定」を参照してください。
摘要	仕訳時に固定でセットしたい文字列がある場合は指定します。 セットされている場合は、仕訳作成処理時に選択した摘要文字は無視されます。
付箋色 付箋文字	仕訳に設定できる付箋の色を、赤・青・気・橙、緑、紫から選択します。 設定しておく、大臣側の検索で、取込した仕訳だけを検索するのに便利です。 また、付箋にメモできる付箋文字にセットする固定文字列も指定できます。

振込入金などの口座を指定するのが前提となっている科目箇所では、「口座使用」チェックがあります。チェックOnにすると入金入力や支払入力での口座選択時、その口座の種別が当座か普通かで仕訳する勘定科目を切替できます。

チェックOnの場合は、上段に当座預金の勘定科目、下段に普通預金の勘定科目を指定します。設定なし、または口座指定なしだった場合は、通常通り借方または貸方科目に指定された勘定科目で仕訳されます。



【注意点】

- ◆ 入金の前払について…  
入金の前払の仕訳は 買掛金／売掛金 としても問題ありません。  
この場合、仕訳リストには消費税が表示されますが、会計ソフトに取り込んだ際に無視されます。
- ◆ 返品や値引の逆仕訳  
返品や値引きは売上時に金額がマイナスで入力されています。  
通常は 売掛金 / 売上高 で金額マイナスで仕訳される場合もありますが、ふくろう販売では金額プラスで 売上値引き及び戻し高／売掛金 のような逆仕訳を前提としています。
- ◆ 画面に「自動」というタブがありますが、これはシステムが自動作成する消費税伝票の仕訳です。実際に設定が必要となるのは以下となります。

伝区		内容	初期設定	
コード	名称		借方科目	貸方科目
961	税掛伝	掛売上に対する伝票毎税の端数調整税の仕訳です。	売掛金(135)	売上高(500)
965	税掛伝	掛仕入に対する伝票毎税の端数調整税の仕訳です。	仕入高(604)	買掛金(305)
971	税現伝	現金売上に対する伝票毎税の端数調整税の仕訳です。	現金(100)	売上高(500)
975	税現伝	現金仕入に対する伝票毎税の端数調整税の仕訳です。	仕入高(604)	現金(100)
981	税前伝	前受売上に対する伝票毎税の端数調整税の仕訳です。	前受金(340)	売上高(500)
985	税前伝	前払仕入に対する伝票毎税の端数調整税の仕訳です。	仕入高(604)	前払金(170)
991	税掛請	掛売上に対する請求時一括の消費税の仕訳です。	売掛金(135)	売上高(500)
992	税前請	前受売上に対する請求時一括の消費税の仕訳です。	前受金(340)	売上高(500)
995	税掛支	掛仕入に対する支払時一括の消費税の仕訳です。	仕入高(604)	買掛金(305)
996	税前支	前払仕入に対する支払時一括の消費税の仕訳です。	仕入高(604)	前払金(170)

※ コード961～985は、得意先や仕入先の税処理が伝票毎税の場合に発生する区分となります。  
例えば以下のように¥77の明細が3行あった場合、各明細の消費税は内部的に¥7となります。  
しかし、全金額の合計に対する消費税は¥23となるため¥2の差異が発生します。  
その差異を調整するため、内部的に調整税の明細を追加しています。  
仕訳作成の場合に、この調整税の仕訳を決定するのがコード991～985となります。

行no	伝区	入力金額	明細消費税	※税端数は切捨てとします
1	掛売上	¥77	¥7	
2	掛売上	¥77	¥7	
3	掛売上	¥77	¥7	
256	税掛伝		¥2	→調整税行が内部的につくられます
合計		¥231	¥23	

仮受消費税、仮払消費税で仕訳しない理由

本来消費税の科目は売上や仕入ではなく仮受消費税や仮払消費税となりますが、会計ソフト側では税込、税抜表示が選択され、税込の場合は、売上高や仕入高科目の税額含めて表示されます。仮受消費税や仮払消費税で仕訳すると、この切換え表示ができなくなりますのでふくろうからの仕訳では、消費税も売上高や仕入高で仕訳をし、内部的には全額消費税額としてセットして仕訳しています。

例 ) ○○商事の請求時一括消費税が100円だったときの仕訳

※全額消費税としているため、税抜表示すると売上高は¥0となります。

借方科目	金額	貸方科目	金額
取引先		取引先	(内消費税額)
売掛金	100円	売上高	100円
○○商事		○○商事	(100円)

⇒全額消費税セット

【12】-1. 会計連動オプション（大蔵大臣）

仕訳科目 初期設定内容まとめ

主な項目の初期設定内容

◇ 売上、入金

処理	伝区	借方科目	補助	部門	口座	税区	貸方科目	補助	部門	口座	税区
掛売上	掛売上	売掛金	○				売上高		○		
	掛返品	売上戻り高		○			売掛金	○			
	掛値引	売上値引高		○			売掛金	○			
	掛経費	売掛金	○				雑収入		○		
現金売上	現売上	現金	○				売上高		○		
	現売返品	売上戻り高		○			現金	○			
	現値引	売上値引高		○			現金	○			
	現経費	現金	○				雑収入		○		
前受売上	前売上	前受金	○				売上高		○		
	前売返品	売上戻り高		○			前受金	○			
	前値引	売上値引高		○			前受金	○			
	前経費	前受金	○				雑収入		○		
掛入金	振込入金	当座預金			○		売掛金				
	振込料	支払手数料		○		課仕入内	売掛金				
	現金入金	現金					売掛金				
	小切手入金	現金					売掛金				
	手形入金	受取手形					売掛金				
	値引	売上値引高		○		課売返内	売掛金				
	相殺	買掛金	○				売掛金	○			
前受入金	前振込入	当座預金			○		前受金				
	前振込料	支払手数料		○		課仕入内	前受金				
	前現金入	現金					前受金				
	前小切手入	現金					前受金				
	前手形入	受取手形					前受金				
	前値引	売上値引高		○		課売返内	前受金				
	前振替	前受金	○				売掛金	○			

◇ 仕入、支払

掛仕入	掛仕入	仕入高		○			買掛金	○			
	掛仕返品	買掛金	○				仕入戻し高		○		
	掛値引	買掛金	○				仕入値引高		○		
	掛経費	雑費		○			買掛金	○			
	諸経費 ※1	(ダミー)					未払金	○			
現金仕入	現仕入	仕入高		○			現金	○			
	現仕返品	現金	○				仕入戻し高		○		
	現値引	現金	○				仕入値引高		○		
	現経費	雑費		○			現金	○			
前払仕入	前仕入	仕入高		○			前渡金	○			
	前仕返品	前渡金	○				仕入戻し高		○		
	前値引	前渡金	○				仕入値引高		○		
	前経費	雑費		○			前渡金	○			
掛支払	振込支払	買掛金	○				当座預金			○	
	振込料	当座預金			○		支払手数料		○		
	現金支払	買掛金	○				現金				
	小切手支払	買掛金	○				当座預金			○	
	手形支払	買掛金	○				支払手形				
	値引	買掛金	○				仕入値引高		○		課仕返内
	未払金 ※2	未払金					買掛金				
前払支払	前振込支	前渡金	○				当座預金			○	
	前振込料	当座預金			○		支払手数料		○		
	前現金支	前渡金	○				現金				
	前小切手支	前渡金	○				当座預金			○	
	前手形支	前渡金	○				支払手形				
	前値引	前渡金	○				仕入値引高		○		課仕返内
	前振替	買掛金	○				前渡金	○			

※1 仕入伝票の諸経費は「未払金管理オプション」ご利用時のみ使用される伝区です  
借方科目には9999が設定されていますが、実際には商品マスタで登録した諸経費の借方科目、補助科目（必要であれば）が設定されます。

The screenshot shows the '商品登録' (Product Registration) form. At the bottom, the '諸経費区分' (Expense Category) is checked and set to '諸経費' (Expense). The '借方科目' (Debit Account) is set to '704'. The '補助科目' (Auxiliary Account) is set to '使用する' (Use).

未払金管理オプションを利用している場合、「諸経費区分」「(諸経費の)借方科目」「(諸経費の)補助科目」を商品登録で指定できます。

諸経費チェックがONの商品は仕入伝票で「諸経費」伝区の明細行に商品を指定できます。  
作成される仕訳データの借方科目、借方補助には商品登録の内容が出力されます。

※2 支払伝票で入力した未払金は、支払の伝区にはありませんが、仕訳データは未払金のみ集計、出力されます。（「未払金管理オプション」利用時のみ、支払入力で未払金の入力が可能です）

支払に未払金伝区はないため、仕訳設定はできません。作成される未払金の仕訳には下記の内容が設定されます。

借方科目	仕入「諸経費」伝区の貸方科目(初期設定 未払金/315)
借方補助	(出力なし)
貸方科目	仕入「掛仕入」伝区の借方科目(初期設定 買掛金/305)
貸方補助	仕入先の補助科目コード

【12】-1. 会計連動オプション（大蔵大臣）

◇ 自動(消費税)

処理	伝区	借方科目	補助	部門	口座	税区	貸方科目	補助	部門	口座	税区
消費税	税掛伝	売掛金	○				売上高		○		
	税掛伝	仕入高		○			買掛金	○			
	税現伝	現金					売上高		○		
	税現伝	仕入高		○			現金				
	税前伝	前受金	○				売上高		○		
	税前伝	仕入高		○			前渡金	○			
	税掛請	売掛金	○				売上高		○		
	税前請	前受金	○				売上高		○		
	税掛支	仕入高			○		買掛金	○			
	税前支	仕入高			○		前渡金	○			
	税未支	仕入高			○		未払金	○			

3. 会計連動 仕訳作成手順

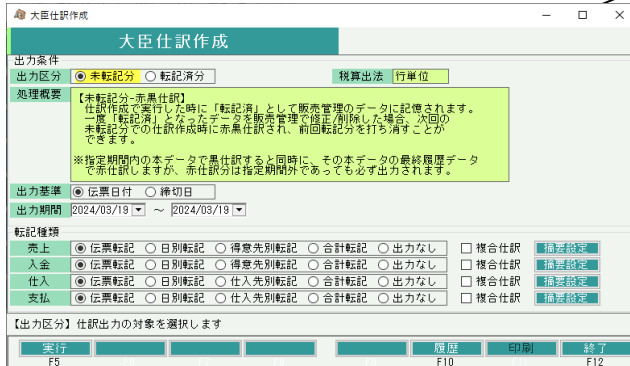
会計ソフトとの仕訳連動するためのテキストデータを出力できます。

また、作成した仕訳リストの発行もできます。

当メニューは運用設定の会計連動設定にて「連動会計ソフト」を設定してある場合のみ、使用することができます。

1) 仕訳作成手順

①会計連動メニューの仕訳作成を起動します。



運用設定の指定してある税算出法が表示されます。  
◆ 一括税=伝票単位  
◆ 調整税=行単位

以下の各設定をします。各設定値は実行処理時に前回値記憶されます。

- ◆ 出力区分にて「未転記分」か「転記済分」を選択できます。  
一度転記した伝票を修正した場合、その伝票は未転記となります。

【注意点】

転記済分で転記する場合は、過去に仕訳したデータ全て出力されるため注意が必要です。  
なるべく出力期間を限定して出力してください。  
大蔵大臣で再度インポートする場合は、該当日でインポートした仕訳を大蔵大臣側で一旦全て削除後再度インポートすることをお勧めします。

- ◆ 出力基準と出力期間を指定します。

出力基準=伝票日付の場合日付を範囲指定、出力基準=締切日の場合締切日を指定します。  
履歴ボタンを押すことで、過去に出力済みの期間を確認することもできます。

【注意点1】

売上日を変更した場合、変更後の売上日が出力範囲に含まれるとその仕訳が作成されます。  
仕訳は変更前の売上日の赤伝と、変更後の売上の黒伝で作成されます。  
そのため、売上日を過去に変えた場合は仕訳が漏れる可能性があり、特に注意が必要です。  
対応として未転記分を仕訳する場合は、出力範囲は常に期首日～期末日指定で日々実行、仕訳することをお勧めします。

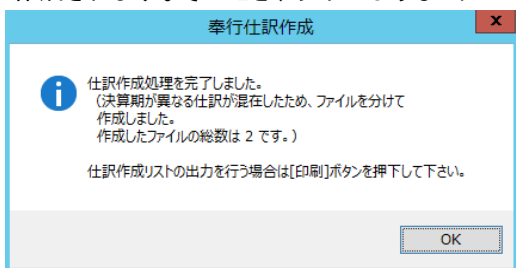
- ・4月2日指定で仕訳し転記した後、売上日を4月1日に変更したとします。
- ・4月2日指定で仕訳すると、4月1日の伝票が取得できず赤黒仕訳がされません。
- ・結果、会計ソフト側には4月2日の売上が残ったままとなります。
- ・対応として、日々の仕訳作成は期首日～期末日を常に指定しておけばこの問題は発生しません。

変更前：4月2日

変更後：4月1日

【注意点2】

決算日をまたがる出力範囲を指定して実行した場合、自動的に決算日ごとの仕訳データに分割して作成されます。そのとき、以下のようなメッセージが通知されます。



売上日を決算日またいで翌期に修正した場合も修正後の売上日で仕訳作成すれば前期の赤伝と今期の黒伝が別ファイルで自動作成されます。

- ◆ 転記種類を各伝票ごとに選択します。  
仕訳しない伝票は「出力なし」を選択します。  
仕訳データは伝票の1明細が1行ずつに仕訳されるのではなく、設定した単位で集計されて仕訳されます。  
集計単位は以下の4つから選択でき、各単位ごとに科目設定ができます。  
※①から④の順で仕訳行数は少なくなります。  
※仕訳作成時は、売上、仕入、入金、支払ごとに集計単位を別で仕訳できます

- ◆ 伝票転記・・・各伝票・伝票区分ごとに仕訳伝票を作成します。  
仕訳の伝票日付はふくろうの伝票日付と同日になります。
- ◆ 日別転記・・・伝票種類・伝票区分・各伝票日付ごとに仕訳伝票を作成します。  
仕訳の伝票日付はふくろうの伝票日付と同日になります。
- ◆ 取引先別転記・・・指定した期間を合算し、伝票種類・伝票区分・取引先ごとに仕訳伝票を作成します。  
取引先を使用していない仕訳は合計転記と同様の仕訳です。  
仕訳の伝票日付は③出力期間T<sub>o</sub>の日付と同日になります。
- ◆ 合計転記・・・指定した期間を合算し、伝票種類・伝票区分ごとに仕訳伝票を作成します。  
仕訳の伝票日付は③出力期間T<sub>o</sub>の日付と同日になります。

- ◆ 複合仕訳するかどうかチェックできます。  
仕訳作成時、借方もしくは貸方で同一科目が複数行存在する場合、複合仕訳とするかどうか選択できます。  
複合仕訳は以下の例のように仕訳するかどうかで選択してください。  
※振替伝票のように、1:Nや2:3などの仕訳を可とするかの設定です。

◆ 複合仕訳OFF			
普通預金	1000円	／ 売掛金	1000円
現金	100円	／ 売掛金	100円
◆ 複合仕訳ON			
普通預金	1000円	／ 売掛金	1100円
現金	100円	／	

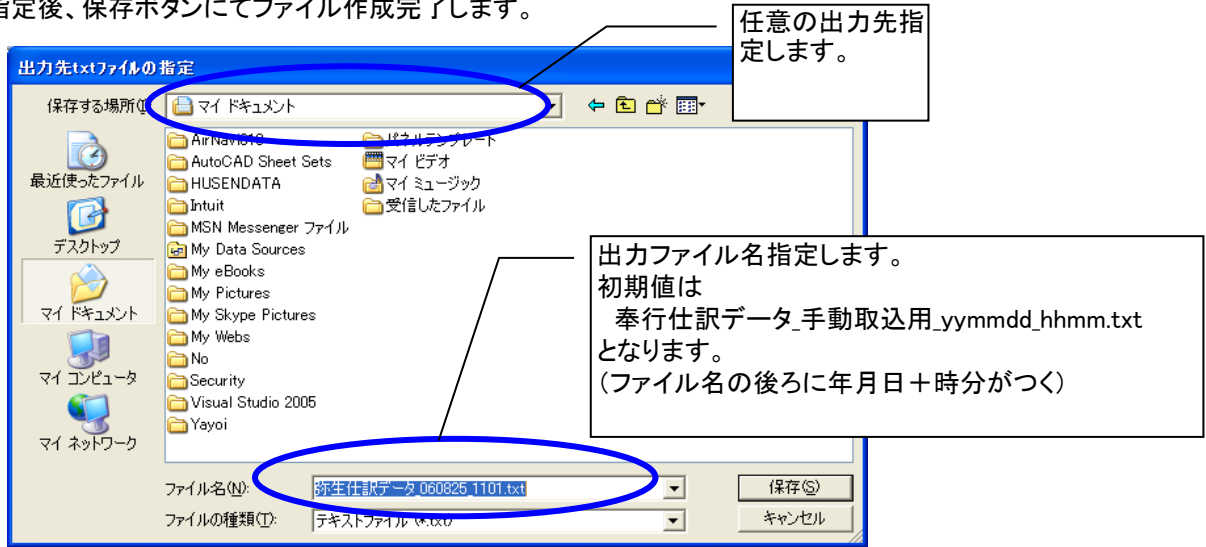
- ◆ 摘要文字の設定について  
仕訳作成時、売上、仕入、入金、支払それぞれでどういった文字列をセットするか選択できます。  
指定できるパターンは以下となります。

- ◆ 売上傳票の場合
  - ・ 得意先コード+売上傳票No+売上データNo
  - ・ 得意先略名+売上傳票No+回収予定日
  - ・ 売上傳票の摘要1+摘要2
- ◆ 入金伝票の場合
  - ・ 得意先コード+入金伝票No+売上データNo
  - ・ 得意先略名+入金伝票No+回収予定日
  - ・ 入金伝票の摘要1+摘要2
- ◆ 仕入伝票の場合
  - ・ 仕入先コード+仕入伝票No+仕入データNo
  - ・ 仕入先略名+仕入伝票No+決済予定日
  - ・ 仕入伝票の摘要1+摘要2
- ◆ 支払伝票の場合
  - ・ 仕入先コード+支払伝票No+支払データNo
  - ・ 仕入先略名+支払伝票No+決済予定日
  - ・ 支払伝票の摘要1+摘要2

ただし、仕訳科目設定で摘要の固定文字をセットしてある伝区の場合は上記設定は無視され、固定文字が出力されます。

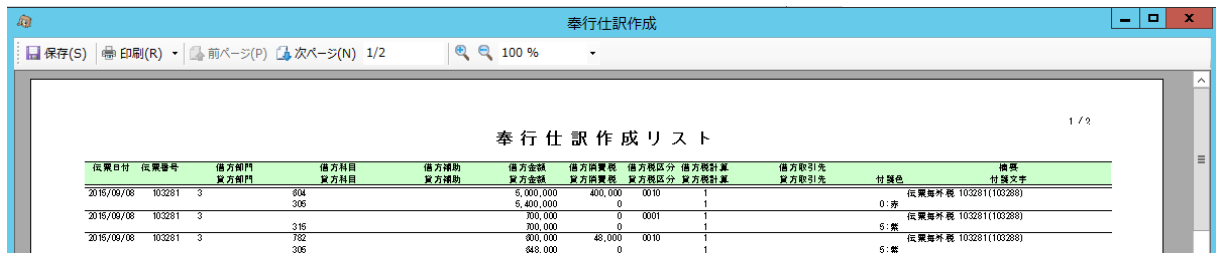
② すべての設定が完了したら「実行」ボタンで仕訳データ作成します。

実行ボタンを押すと、出力先とファイル名指定の画面が開きます。  
指定後、保存ボタンにてファイル作成完了します。



③ 実行終了し、対象の仕訳データが存在した場合は「印刷」ボタンが押せるようになります。

印刷ボタンを押すと仕訳作成リストがプレビュー表示されます。  
プリントアウトして保管することをお勧めします。



※画面下の「履歴」ボタンをクリックすると、仕訳作成履歴を確認できます。

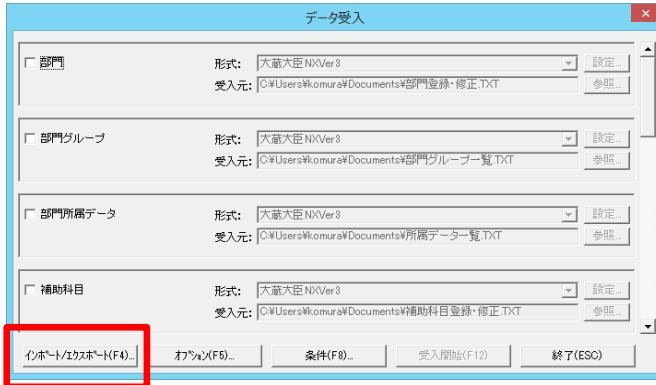


2) 仕訳インポート手順

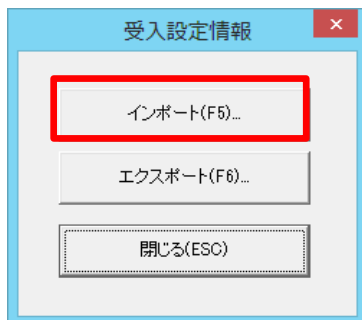
運用開始後初めてインポートする場合

・大蔵大臣に初めて仕訳を取り込む場合、伝票の受け入れ形式を大臣側で登録します。

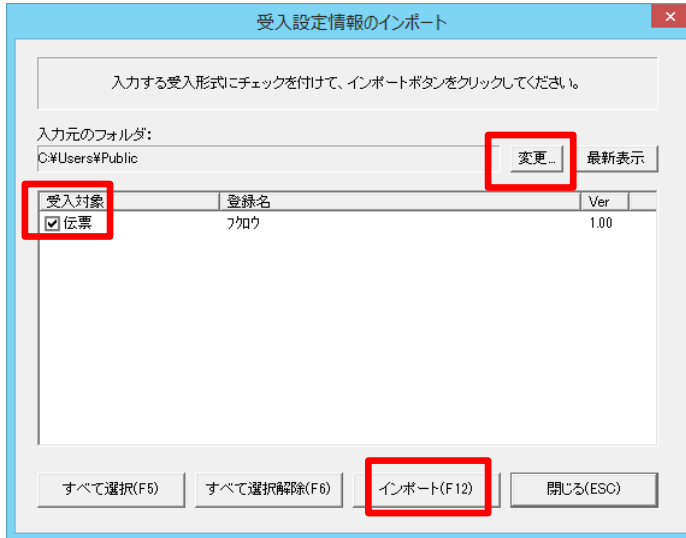
- ①ふくろう販売納品時にお渡しした、「伝票\_フクロウ.UKF」ファイルを任意の場所へ保存します。
- ②「大蔵大臣メインメニュー」⇒「特殊処理」⇒「データ受入」を起動します。
- ③インポート/エクスポートボタンを押します。



- ④受入設定情報画面が起動するので、「インポート」を選択します。



- ⑤受入設定情報のインポート画面が起動します。  
 変更ボタンを押し、フォルダ選択画面より、「伝票\_フクロウ.UKF」ファイルを保存した場所を選択します。  
 OKボタンで、フォルダ選択画面を閉じると、受入形式が表示されるので、  
 「伝票」にチェックを付け、「インポートボタン」を押します。



- ⑥受入情報設定画面は閉じ、「データ受入画面」を表示します。



## 【12】-1. 会計連動オプション（大蔵大臣）

⑦伝票にチェックを付けます。

形式の選択項目から、「フクロウ」を選択します

受入元の「参照」ボタンから、ふくろう販売から出力した、仕訳テキストファイルを選択します。

データ受入

伝票

形式: フクロウ

受入元: #Users#test#Desktop#大臣仕訳データ\_手動取込用\_180328\_0957.txt

参照...

仕訳事例

形式: 大蔵大臣 NXVer3

受入元: C:#Users#komura#Documents#仕訳事例登録\_修正.TXT

参照...

摘要辞書

形式: 大蔵大臣 NXVer3

受入元: C:#Users#komura#Documents#摘要登録\_修正.TXT

参照...

年次データ

形式: 大蔵大臣 NXVer3

受入元: C:#Users#komura#Documents#年次データ登録\_修正.TXT

参照...

インポート/エクスポート(F4)...    オプション(F5)...    条件(F8)...    受入開始(F12)    終了(ESC)

⑧条件ボタンを押します。

「伝票番号の自動付番を行う」にチェックを付けます。

条件

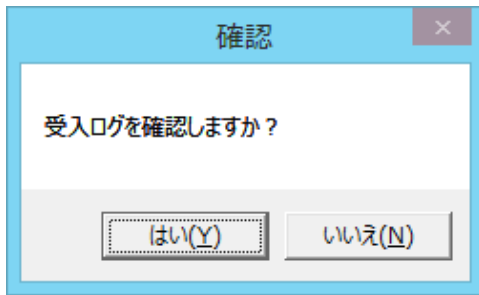
伝票

伝票番号の自動付番を行う

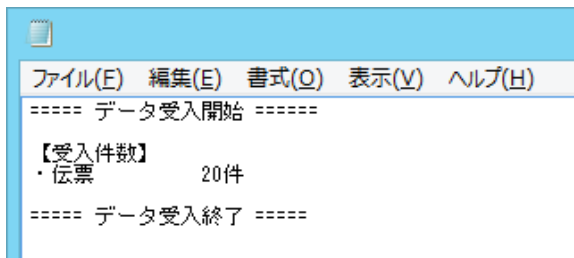
1. 振の回数が支払予定を予約伝票に自動予約する

OK    キャンセル

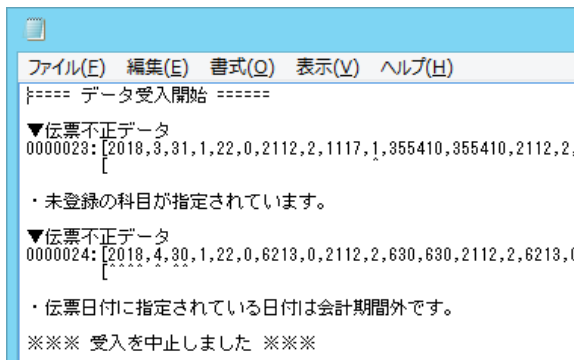
- ⑨「受入開始ボタン」で仕訳データを取り込みます  
下記の画面が表示されるので「はい」を選択します。



仕訳が正常に取り込まれた場合は、下記のメッセージが表示されます。

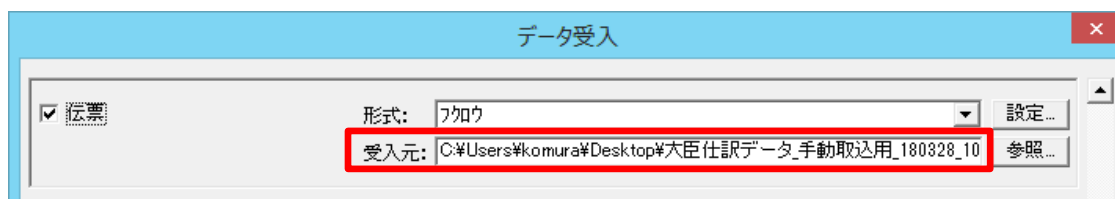


エラーが存在する場合は、下記の内容が表示され、全件、取り込みは中止されます。  
書かれている内容を参考に、ふくろう側で伝票やマスタを修正して、再度仕訳作成を実行してください。  
再度インポートする場合は転記済分で出力することとなりますが、過去に取込済のデータを再取込しないよう運用に注意が必要です。（場合によっては大蔵大臣へ手入力での仕訳入力をお勧めします）

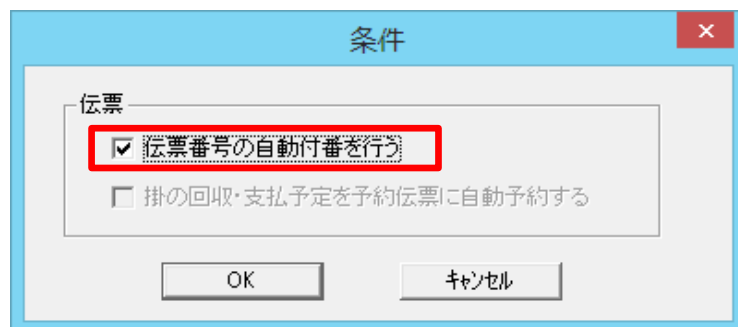


## 2回目以降の仕訳受入方法

- ・次回インポートからは形式があらかじめ設定されているので、受入元の仕訳テキストファイルのみを選択してください。



- ・「伝票番号の自動付番を行う」のチェックは毎回設定が必要です。



## 仕訳連動に関する注意点、補足

- ・ ふくろうの消費税登録で「大臣税区分」を指定していない場合、仕訳時の税区分は大臣の科目登録で設定されている税区分が自動適用されますが、消費税額はふくろう販売側で仕訳にセットされます。（大臣側で再計算されません）
- ・ 設定されている連動用の補助科目や部門、仕訳設定科目は、仕訳作成処理時に都度最新のもので採用されます。設定を途中で変更した場合、過去の仕訳を再作成すると、最新の設定で仕訳されますので注意してください。
- ・ 大蔵大臣側では、同一伝票のインポート重複チェックはできません。同じ仕訳ファイルを何度もインポートすることが可能で、インポートする度に仕訳が重複されますので注意してください。
- ・ 補助科目や部門、口座が増えた場合は、ふくろう販売と大蔵大臣の両方に登録する必要があります。ふくろう販売のみに登録して仕訳した場合、インポート時にエラーとなります。
- ・ 大蔵大臣へインポートしても、元のファイルは自動で削除されません。インポートしたデータは別フォルダに移動するなどの運用をお勧めします。（2重取込の防止）
- ・ 出力ファイル名の最後尾には時分が付加されています。そのため、連続で出力した場合、同一分内であれば同じファイル名で上書きされる場合がありますので注意してください。